「アベノミクス」の危険な暴走を許さず
賃上げと安定した雇用拡大で
本格的な景気回復を！

安倍政権は、高い支持率と国会での多数を背景に、「アベノミクス」と称する経済政策を突き走っています。それでも日本の経済・社会はよくなるのでしょうか。

常年の成長を求める「成長戦略」の名で進められている労働法制の「規制緩和」

は、どれも古い自民党政権の使い古したものです。それからは、労働者の所得や働く人の賃金を増やすと賃金を奪う「矢」だけです。

国名の所得や働く人の賃金を増やすと賃金を奪う「矢」だけです。

議論を進めるためには、雇用と賃金をしっかり上げることが必要です。これが「ャパノミクス」の、「3本の矢」

が、賃下げ圧力を強め、「コロナ不況」を促進させるだけです。

労働者の所得や働く人の賃金を増やすために、労働者を引き揚げることになるかもしれません。そして、「雇用の激化は、経済の現代化」をいう弱体化を生むのです。

は、①正社員の雇用規制の緩和、②業界専門員の導入（業界専門員制度）、③労働者の解雇がなくなり解雇の数が減ることでしょう。

経済の成長を阻害する日本経済の活性化につながり、「デフレ不況」から抜け出す一歩

は、労働者が働く人の権利であり、国の代表である要求です。雇用の新自由化の流れを制限し、雇用の安定を図るためには、労働者の意見をしっかり反映させなければなりません。

賃上げを安定化した雇用数を増やすために、消費者に消費を促進させることに

で、賃下げ圧力を強め、「コロナ不況」を促進させるだけです。

日本経済の基盤をしっかりと

に、変法を求める国民と大関争を、みんなで

できるようにしましょう。

96条の王法を変えるに、憲法を改憲派の最大の狙いは、

6条の王法を手始めに、憲法を求める国民と大関争を、みんなで

できるようにしましょう。

憲法を守るためには、前後の背景をしっかりと

に、変法を求める国民と大関争を、みんなで

できるようにしましょう。
巡視な施川崎重工・三井造船の経営統合交渉のない」と今後の展開に含みを持たせました。働者と地域経済に犠牲の転嫁をさせないと思わざる無理な配転、非正規社員の雇い止めなど、労残りを図っていこうとする狙いがあると報じられました。争激化で苦戦を強いられています。川重と三造船が経営統合交渉に向けた協議を始めた。

日本の造船業界は、中国、韓国企業との競争激化で苦戦を強いられている。川重と三井は統合により、得意な分野での成長、生き残りを図っているようであると報じられています。統合によって会社を成長、発展させることが自体が難しいが、労働条件の引き下げや無理な配転、非正規社員の雇い止めなど、労働者が地域経済に犠牲の転嫁をさせないように注視していきます。

川崎重工・三井造船の経営統合交渉の行方を注視

4月22日、マスコミ各社は、川重と三井造船が経営統合交渉に向けた協議を始めたとの報道が流れました。川重の長谷川社長は4月25日、現在の状況では交渉は進んでいないと述べたが、今後も展開する模様です。

日本造船業界は、韓国、中国企業との競争激化で苦戦を強いられている。川重と三井は統合により、得意な分野での成長、生き残りを図っているようであると報じられています。統合によって会社を成長、発展させることが自体が難しいが、労働条件の引き下げや無理な配転、非正規社員の雇い止めなど、労働者が地域経済に犠牲の転嫁をさせないように注視していきます。
(3) はぐるま NO.215 2013年 春季号

高齢者の雇用安定法の改正

（1）高齢者の雇用安定法の改正（13年4月1日施行）

企業の規模や業種に関わらず、企業の規模や業種に関わらず、年齢者の雇用安定法第8条の規定により、年齢者の雇用安定法第8条の規定により、65歳まで雇用する制度の導入が必要である。

（2）不労所得の防止に努めること

不労所得の防止に努めることと、社会通念上の問題を解決すること。

労働契約の法律の改正

（1）労働契約の法律の改正（12年8月10日施行）

契約期間を1年以内に制限すること。

（2）労働契約の法律の改正（13年4月1日施行）

契約期間を1年以内に制限すること。
新幹線の裏側

日本の物つづり・崩壊の日

１号館脇に「注意！扇の向こう側に人がいます」と書かれた看板は、一般人が新幹線の裏側にいることを示しています。この看板は、新幹線の安全対策の一環として設置されているものです。新幹線は高速鉄道であり、その安全対策は非常に重要です。

新入社員の皆さんへ

新入社員の皆さんへ

最近のニュースから

橋下暴言に国内外から批判と抗議

日本維新の会の橋下徹共同代表が、「（戦争で）命をかけて走っていた猛者集団をどこかで休息させてあげようと思わせる」（7月13日）との発言が問題にされ、国内外から批判が訪れています。石原慎太郎の発言も、「戦争を忘れて」など、日本でも世界でも通じる言葉に取り上げられています。

外交や内政の問題としての政治家の品位を落とすと共に日本の信用を喪失させているという発言が国際社会から批判を浴びています。

大阪市民からも、「日本の恥・大阪の恥や」など、激怒の声が上がっています。橋下氏の女優である安部裕子の発言が国際社会から批判を受けており、弁解の余地はきわめて少ない状況です。

震災対策

震災対策

震災対策

安全パトロール

毎週水曜日は定時退場

退社前にみなさんが入念に安全パトロールを行っています。震災対策の一環として、安全パトロールは大切なことです。心の安全も守るために、退社前にみなさんが入念に安全パトロールを行っています。